



2023(令和5)年12月20日

福山市立日吉台小学校

5年学年通信 No.24

学びをつなぐ社会見学

12月1日(金)にライフパーク科学センターと三菱自動車工業水島製作所工場に社会見学に行きました。「学習してきたことを、実際に自分の目で見たり話を聞いたりして、さらに、学びを深める。」「今まで身につけてきた公共の場でのマナーを試す。」を目的に一日を過ごしました。

バスの運転手や見学場所の方々に、自分から挨拶をしたり、質問や感想をいったりすることができました。特に、ライフパーク科学センターでは、係の方から「元気がいいし、反応がいいね!!すごい学校ですね。」と褒めて頂きました。普段の子どもたちの良いところがしっかりでている学習になっていると思い、社会見学の場所としても、子どもたちに適した場所であったと感じることができました。今回できたことをもっと積み重ね、さらに頑張りたいと思います。

知らないことを知った

高橋 和志

僕達五年生は、今まで学んだことよりもさらに上のことを知るために社会見学に行きました。

科学センターでは、理科の授業では学べないくらい詳しいことを知ることができました。例えば、「町中の光を全て消すと、星はどれくらいの数を見ることが出来るか」「ゆれることを利用したおもちゃ」など、聞いたことや見たことがないものがたくさんありました。知らなかったことをたくさん知ることができました。

自動車工場では、教科書では知ることができなかったことも詳しく知ることができました。「どのようなパーツをどのような場所にどうやって取り付けているか」「車の点検では、人の目で何をどのように確認しているか」が分かりました。

僕は、まだまだ学び足りないことがたくさんあります。また、学びに行きたいと思いました。

新しい一歩

藤井 敢太郎

僕が社会見学で新しい一歩を踏み出し、成長できたことは、時間に沿ってすべての行動を間に合わせることができたことです。集合時間前にトイレを済ませ並ぶなど、当たり前のことを当たり前に行けるようになったことです。理由は、社会見学の時だけでなく、前日からしおりを見て準備をしていたことで、当日慌てることもなく荷物の確認もできたからです。そして、三菱自動車工場では、案内して下さる係の人について歩き、「聞く時は聞く。」「歩くときは歩く。」というようにはじめをつけてすることができました。

成長したところだけでなく、直していかなければならないところもありました。それは、科学センターで、楽しいと思ったところへすぐに行ってしまう、班の人から離れてしまったことです。そのせいで、班はばらばらに行動してしまいました。最後には、班の人に会えなかったからいいものの、班の人に会えていなかったら時間が分からず、僕だけでなく班の人も怒られてしまうかもと考え、直さなければならぬと思いました。

今回の社会見学は、直さないといけない課題もあったけれど、成長できたこともたくさんありました。六年生の修学旅行に向けて、良い所をのびして悪い所は直していきたいです。